

未来投資会議 構造改革徹底推進会合
「健康・医療・介護」会合

平成30年3月9日(第4回)

資料2



脳梗塞リハビリセンター

保険外サービス

脳卒中後遺症特化型 完全マンツーマンリハビリ

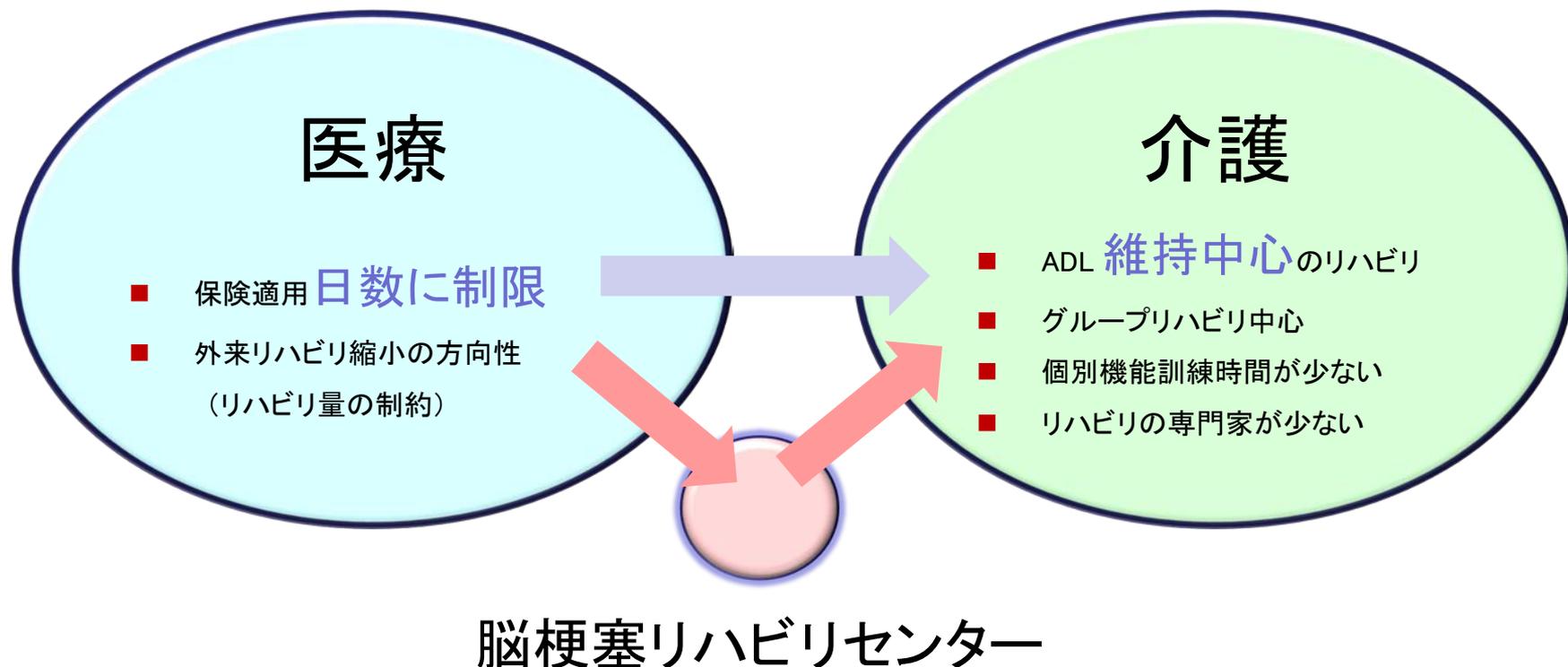
株式会社ワイズ

早見 泰弘

- 2014年3月より介護保険リハビリデイサービス事業を開始(半日型 定員12名)
 - 脳卒中後遺症患者が多く、かつ2号認定の若い利用者も多かった
 - グループリハビリ中心となり機能改善を図ることが限定的だった

- デイサービス利用者の方から、下記のような声を多くいただく
 - 「マンツーマンでのリハビリの時間を多く欲しい」
 - 「自分の症状や状態に合ったリハビリがしたい(言語・手先など)」
 - 「もっとリハビリしたいが、どこに行ってもよいか分からない」
 - 「介護施設でなくリハビリ専門施設でリハビリがしたい」

社会保障制度下では対応が難しい「隙間」を埋める存在



※当センターのリハビリは医師の指導に基づくリハビリテーションではなく、リハビリ専門家による広義のリハビリを提供

- リハビリ専門家(PT・OT・STなど)による個々の症状・状態に応じたパーソナルリハビリの提供
- 1回2～3時間程度の質・量ともに充実したリハビリ内容

【脳梗塞リハビリセンター概要】

営業曜日・時間: 月曜日～日曜日 9:00～18:00

※完全予約制

※営業曜日は施設により異なる場合があります



【施設一覧】

- 本郷センター(東京都文京区)
- 新宿センター(東京都新宿区)
- 田町・三田センター(東京都港区)
- 立川センター(東京都立川市)
- 用賀センター(東京都世田谷区)
- 川崎センター(神奈川県川崎市)
- 西船橋センター(千葉県船橋市)
- 大宮センター(埼玉県さいたま市)
- 新潟センター(新潟県新潟市)
- 池袋センター(東京都豊島区) ※4月オープン予定



- 延べ35,000回以上のノウハウを形にしたオリジナルメソッドに基づき個々の「リハビリプラン作成」と「改善状況」を可視化

下肢 (歩行) 4.5段階

ステージ 10
小走り・ジャンプ

ステージ 9
純屬に歩ける

ステージ 8
フリーハンド歩行

ステージ 7
フリーハンド歩行

ステージ 6
器具または杖使用で歩行

ステージ 5
器具・杖方使用で歩行

上肢 4.5段階

ステージ 10
両手で行動が出来る

ステージ 9
道具を使用

基礎 (体幹) 3.3段階

【基礎 (体幹)】

目標ステージ	ステージ	リハビリ項目	リハビリ項目
立ち上がり	4	立ち上がりに必要な可動域がある	立ち上がりに必要な体幹の筋力がある
		体重が乗っている感覚が分かる	麻痺側の足の裏が浮かない
立位保持	3	顔が正面を向いている	体幹が左右へ傾かない
		膝が過伸展していない	膝折れしていない
起き上がり	2	頭を挙げていられる	麻痺側の肩甲骨が後ろに引けない
		足が突っ張らない	ステージ1の姿勢で座れる
座位保持	1	顔が正面を向いている	体が前後へ傾かない
		両手が太ももに置けている	両足が開かない

リハビリ STEP UP計画 氏名: [] 様

リハビリ目標	STEP 1		STEP 2		短期目標		最終目標 (長期)	
	1 ヶ月		2 ヶ月		3 ヶ月		6 ヶ月	
	階層コード	ステージ	階層コード	ステージ	階層コード	ステージ	階層コード	ステージ
リハビリ目標	基礎 (体幹) ①段階		基礎 (体幹)		基礎 (体幹)		基礎 (体幹)	
	10	仰向け	4	20	起き上がり (脚)	4	30	立位保持 (脚)
	20	起き上がり (脚)	4	22	起き上がり (体幹 1)	4	31	立位保持 (体幹 1)
	基礎 (体幹) ②段階		下肢		下肢		下肢	
	21	起き上がり (上肢)	4	50	器具・杖方使用での歩行 (全身 1)	8	60	器具または杖使用での歩行 (全身 1)
	22	起き上がり (体幹 1)	4	55	器具・杖方使用での歩行 (体幹 2)	8	65	器具または杖使用での歩行 (全身 3)
	基礎 (体幹) ③段階		上肢		上肢		上肢	
	30	立位保持 (脚)	4	50	テーブルに手を置い ておく (手前 1)	8	65	テーブルに手を置く (前)
	31	立位保持 (体幹 1)	4	55	テーブルに手を置い ておく (上肢)	8	63	テーブルに手を置く (前 1)
	リハビリ項目		リハビリ項目		リハビリ項目		リハビリ項目	
【脚】	膝が左右均等に伸びている	【脚】	膝を挙げていられる	【脚】	膝が正面を向いている	【脚】	達成	
【脚】	膝を挙げていられる	【脚】	起き上がりに必要な筋力がある	【脚】	体幹が左右へ傾かない	【脚】	達成	
【脚】	麻痺側肩甲骨が後ろに引けない	【脚】	前肩甲骨上肢での支持があれば立位可能	【脚】	器具・支持なしで左右均等に立位可能	【脚】	片足立ちが 30 秒以上可能	
【脚】	起き上がりに必要な筋力がある	【脚】	歩行中に体幹が左右に傾かない	【脚】	支持なしで歩けるものが持つことが出来る	【脚】	待機の代わりなく振り出せる	
【脚】	顔が正面を向いている	【上肢】	頭・手足がテーブルに触れている	【上肢】	肘をゆっくり曲げ伸ばしが出来る	【上肢】	左右両々の動きが出来る	
【脚】	体幹が左右へ傾かない	【上肢】	手をテーブルに押し付けられない	【上肢】	肘が必要以上に開かない	【上肢】	道具を力まずに持つことが出来る	
【歩行】	【その他】	【歩行】	【その他】	【歩行】	【その他】	【歩行】	【その他】	

上記、取り組みを第43回日本脳卒中学会学術集会(3/17)にて発表予定
 題名:「生活期にある脳卒中患者に対する、鍼灸とリハビリテーションの効果の検証」

- 60日間の徹底リハビリで最短で最大の効果を目指すパーソナルリハビリプラン
- 施設リハビリだけでなく、毎日在宅での自主リハビリについても完全サポート

【プラン内容】

- 施設リハビリ(16回:1回2時間)
- カウンセリング・リハビリ計画策定
- 自主リハビリ課題(60日分)

【頻度】

週2回(希望に応じて増やすことも可能)

脳梗塞リハビリセンター (メニュー) 料金

成果に、コミット! 返金保証制度あり!

60日間改善リハビリ

60日間の徹底リハビリで、後遺症をひとつ上のステージへステップアップ。最短で最大の改善を目指す、日本初の「成果」に着目したリハビリプランです。

日本初! 成果型リハビリ

「60日間改善リハビリ」の特徴

その1 60日間徹底リハビリであなたの後遺症改善にコミット!	その2 期間中、施設だけでなくご自宅の自主リハビリまで徹底サポート!	その3 成果をご実感いただければ返金保証!
-----------------------------------	---------------------------------------	--------------------------

あなたの症状に合わせた目標達成を実現する徹底リハビリ!

施設リハビリ 週2回以上 個別リハビリ計画 計画にもつづいたマンツーマンリハビリ	60日間で目標に合わせた改善を達成!	自宅リハビリ 毎日 施設リハビリに連動した自主課題 ご家族向け介助指導・相談
---	--------------------	---

『60日間改善リハビリ』 自主リハビリ課題 ステージ2

脳梗塞リハビリセンター

Stage 2

022-001 お尻での左右への体重移動

- 1 両ひざを曲げてお尻で寝る
- 2 その姿勢から、お尻の両側のひざの上の骨が移動するようにゆっくりと体を倒していく。1の姿勢に戻る

※足の痛みがない範囲で行う

実施回数 (15) 回 × (10) 秒 × (3) セット

Stage 1

018-001 足を固定した状態で左右体重移動

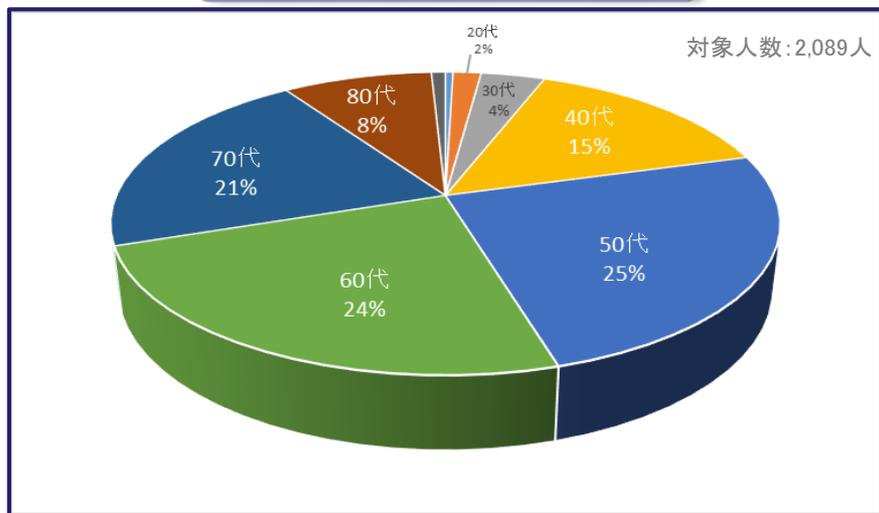
- 1 ベッドなどに寝り、足が動かさないように、ペリオドの固定できる60秒固定
- 2 両ひざを曲げてお尻で寝る
- 3 両ひざを曲げてお尻で寝る
- 4 その姿勢のまま、お尻の両側のひざの上の骨が移動するようにゆっくりと体を倒していく。1の姿勢に戻る

※足の痛みがない範囲で行って欲しい

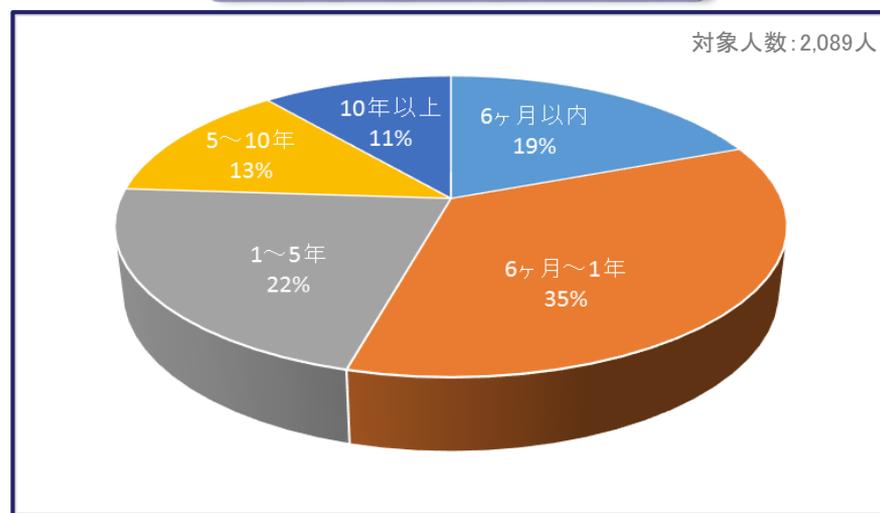
実施回数 (10) 回 × (5) 秒 × (5) セット

利用者に関する属性

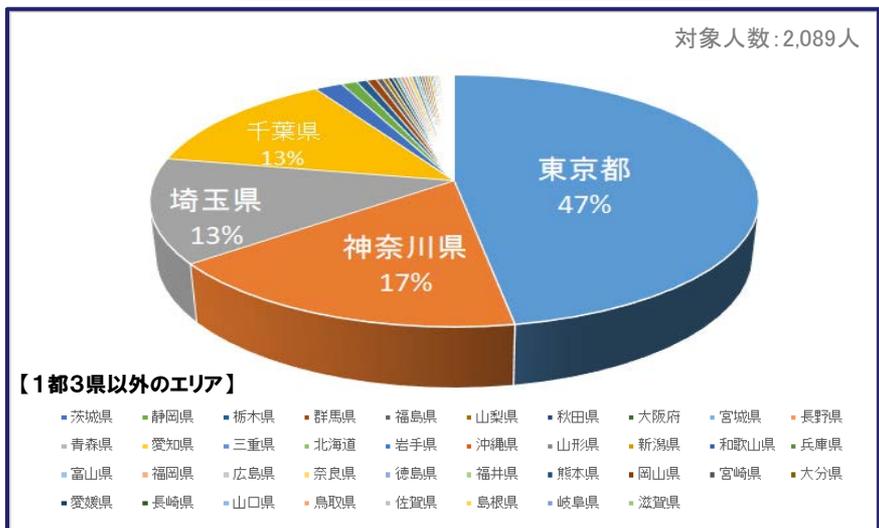
利用者の年代



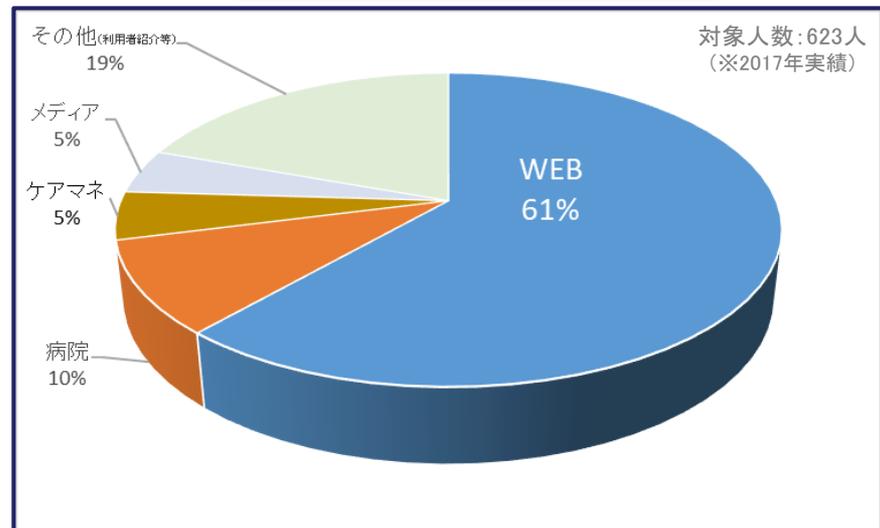
発症からの期間



利用者のエリア



知ったきっかけ



約2,000人の方にご利用いただき、多数の方が改善されました



各種リハビリサービス

①オンラインを活用したリハビリサービス『リハビリコーチ』

～事情(距離・費用等)により、施設でリハビリが受けられない方は非常に多い～

②ロボットを活用したリハビリサービス

③海外(中国)でのリハビリサービス

①オンラインを活用したリハビリサービス『リハビリコーチ』

- アプリで自主リハビリ動画や情報コンテンツが無料で見放題(有料のみコンテンツあり)
- 専門家の指導にもとづく自主リハビリコーチング(カウンセリング及び指導月4回～)
- 在宅勤務にて育児など休職しているリハビリ専門家の活用も視野

トップ画面



カウンセリング



動画配信



②ロボットを活用したリハビリサービス

【歩行支援ロボット】



【言語トレーニングロボット】



軽量かつ操作性も容易のためリハビリ現場での実用性が高い
ロボットの活用により基本プランと比較して低価格帯のサービスを実現
ロボットとヒトとの分業化による効率化

③海外(中国)でのリハビリサービス

- 日本のリハビリ技術の高さが評価され、中国のパートナー企業と提携して
富裕層向けパーソナルリハビリ施設の運営受託を検討中



※上記写真はイメージです

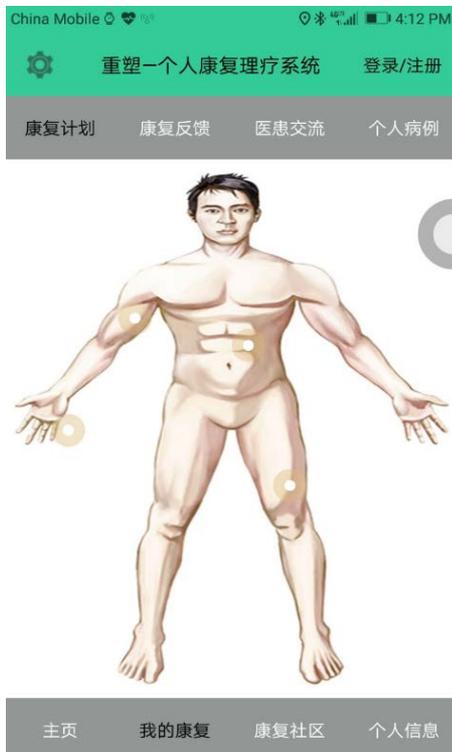


※上記写真はイメージです

③海外(中国)でのオンラインリハビリサービス

- 中国のパートナー企業と中国向けのオンラインリハビリサービスを開発中
- 日本では専門家がカウンセリングを受けて動画を選定するが、中国版では動画選定ロジックを用いて完全自動型で動画を選定する仕組み

【動画選定イメージ】



部位や状態を選択し、
ロジックを用いて
パーソナル動画が
自動選定される



【パーソナルリハビリ動画】



- 保険内サービスでは対応しきれない領域を保険外サービスで補完することにより
機能維持・改善に向けて利用者の**選択肢の幅を広げ**ることができる
- 保険外リハビリサービスが普及することにより、理学療法士・作業療法士・
言語聴覚士の新しい職場の創出につながり、活躍の場が広がることを期待できる
- ITを活用することにより、安価かつ遠方等の場所を選ばずリハビリサービスを提供
できるため、利用者の機能維持・改善に向けた機会を増やすことができる
- ロボットを活用することにより、効率的かつ効果的な幅広いリハビリサービスを提供
することが期待できる
- 日本の高いリハビリ技術を保険外サービスとして海外へ展開



脳梗塞リハビリセンター



株式会社 **ワイズ**